

南京攻略80年記念大講演会

外務省目覚めよ! 南京事件はなかった

問6 「南京大虐殺」に対して、日本政府はどのように考えていますか。

1 日本政府としては、日本軍の南京入城（1937年）後、非戦闘員の殺害や略奪行為があったことは否定できないと考えています。しかしながら、被害者の具体的な人数については諸説あり、確定することは困難であると考えています。

2 先の大戦における行いに対する、痛切な反省と共に、心からのお詫びの気持ちが続けてきたものです。そうした気持ちが、戦後50年に当たり、村山談話で発表された小泉談話においても、そのお詫びの気持ちは、引き継がれてきました。

80年前の12月13日、日本軍は南京を攻略した
 南京事件は中華民国の戦時宣伝である
 80年を機に歴史捏造の払拭を！
 なぜ外務省は南京事件を認めるのか？
 近隣諸国条項も、日中共同歴史研究も、
 外務省が主導した
 外務省はホームページから
 南京事件の項目を消せ

国会議員の先生方が 熱く語る大演説会

稲田朋美 (衆議院議員・自民党)

松原 仁 (衆議院議員・希望の党)

山田 宏 (参議院議員・自民党)

日時: 12月13日(水) 午後6時30分開場、6時50分開演、9時閉演

会場: 文京シビック小ホール 参加費: 千円・学生は五百円

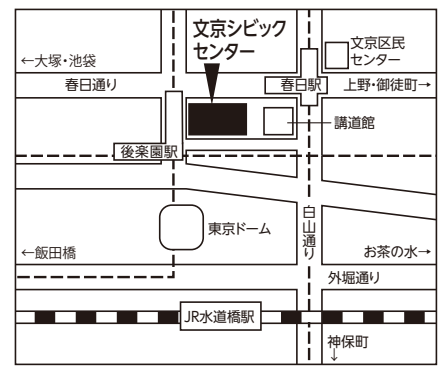
東京都文京区春日1-16-21 地下鉄丸ノ内線後楽園駅、東西線春日駅、都営三田線春日駅、都営大江戸線春日駅、それぞれすぐ、JR水道橋駅徒歩10分

主催 = 南京戦の真実を追求する会 (会長 阿羅健一)

HP <http://www.howitz.jp/history/index.html>

問い合わせ先: Eメール howitzer@waltz.ocn.ne.jp

FAX 03-5275-2355



協賛 映画「南京の真実」製作委員会／英霊の名誉を守り顕彰する会／SOS-JAPAN緊急SOS日本国民行動／主権回復を目指す会／チャンネル桜エンタテインメント／展転社／東京教育懇話会／東京郷友連盟／南京の真実国民運動／日本近現代史研究会／日本政策研究センター／日本の名誉を守る会

南京事件の濡れ衣を着せられた松井石根大将 いま、晴らすときです 怨親平等 南京鎮魂